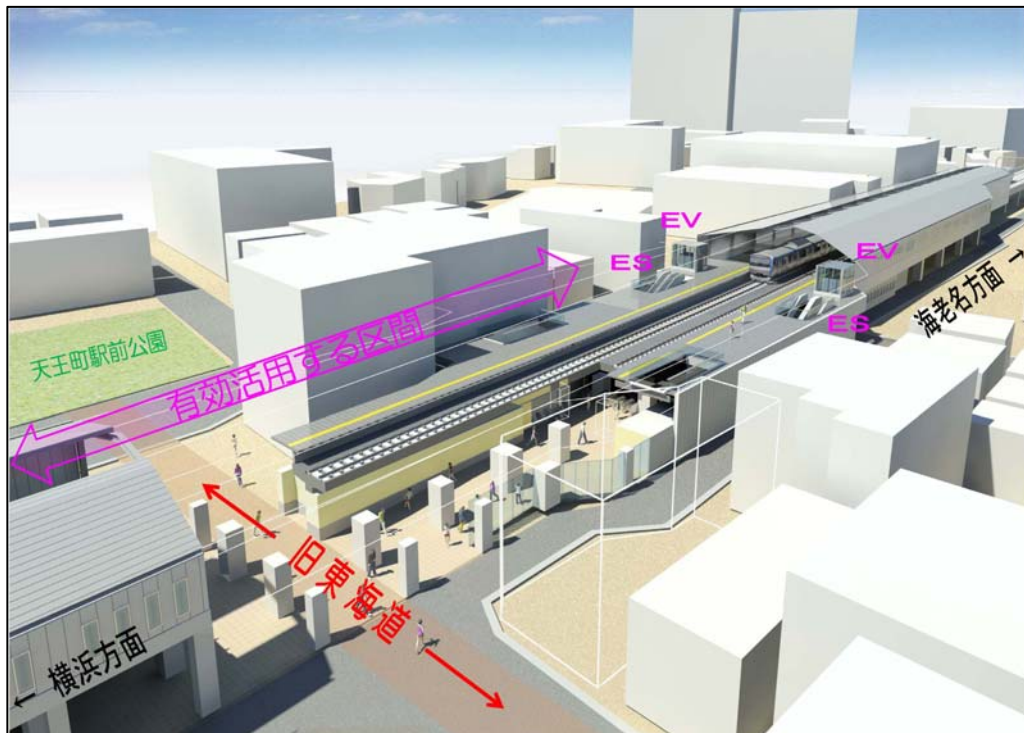


相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業 における天王町駅部の構造物の有効活用について

1 検討結果の概要

- (1) 天王町駅部の約 1/3 の基礎及び柱を有効活用する施工方法に変更することで、駅部の早期着工が可能となり、平成 28 年度の下り線の高架化及び、30 年度の全線高架化完成の確実性が増します。
- (2) 骨格となる部分を有効活用しますが、耐震性を向上させるため柱を補強し、駅舎全体は、内外装ともに全面的にリニューアルされます。さらに、駅内部には、エスカレーターが設置され利便性の向上が図られます。
- (3) 既存駅部の取り壊し範囲が縮小されることで、工事中の騒音、振動が軽減されるとともに、事業費については、現時点で約 5 億円程度縮減される見込みです。

2 天王町駅のイメージ図



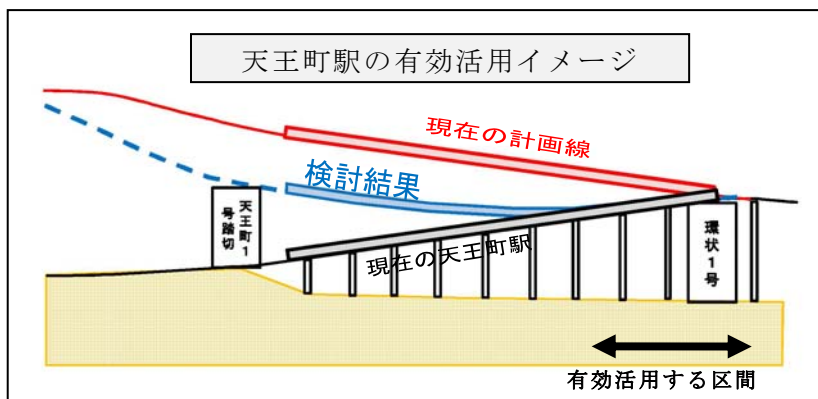
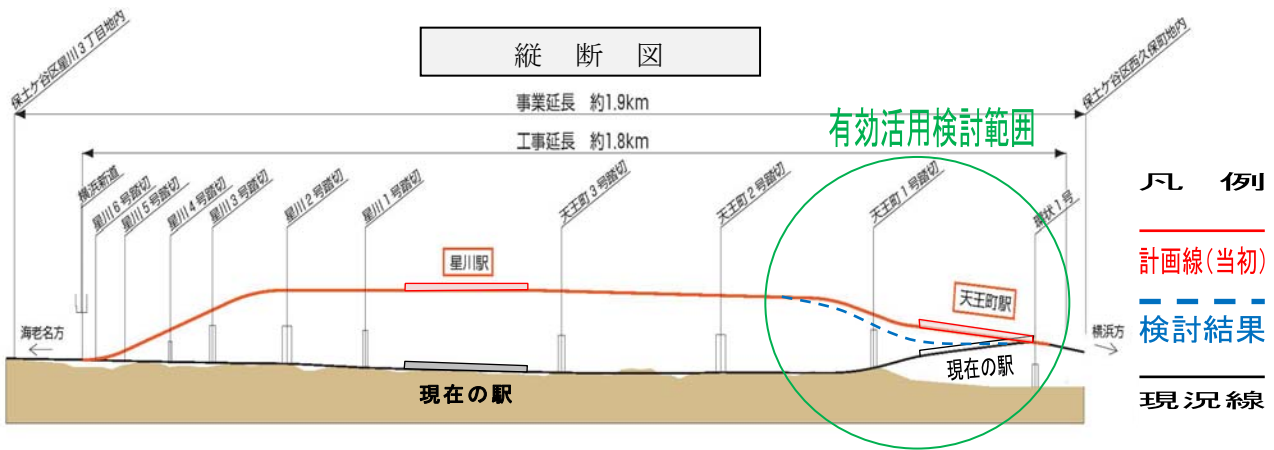
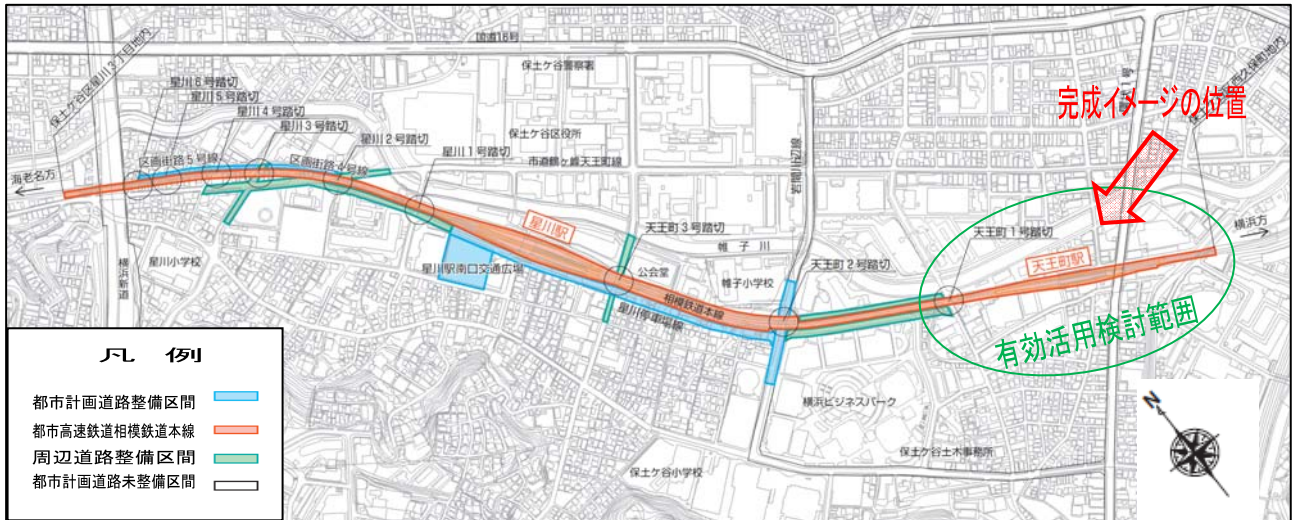
※ 完成イメージについては計画中であり、変更になることがあります。

3 今後の対応

検討結果については、今後、地元自治会町内会等に説明をさせていただくとともに、国等、関係機関との詳細協議を行い、都市計画変更の手続きを進めていく予定です。

< 参考 1 >

連続立体交差事業周辺図等



■天王町1号踏切の道路から高架構造物までの高さは、現計画より低くなりますが、一般の大型車両の通行に支障が出ない3.8mを確保できる見込みです。

< 参考 2 > 事業概要 (現在の計画)

- 都市計画決定 : 平成 14 年 6 月
- 都市計画事業認可 : 平成 14 年 9 月
- 事業延長 : 約 1.9 km (星川駅、天王町駅の 2 駅を含む)
- 踏切除却数 : 9 箇所 (すべて開かずの踏切)
- 鉄道高架化完成 : 平成 30 年度
- 概算事業費 : 470 億円